



# 情報収集衛星に係る 平成31年度概算要求について

平成30年9月20日

内閣衛星情報センター

# 情報収集衛星の開発・運用事業費（内閣衛星情報センター）

31年度概算要求額 744.0億円【うち優先課題推進枠 197.1億円】  
（30年度予算額 620.0億円）

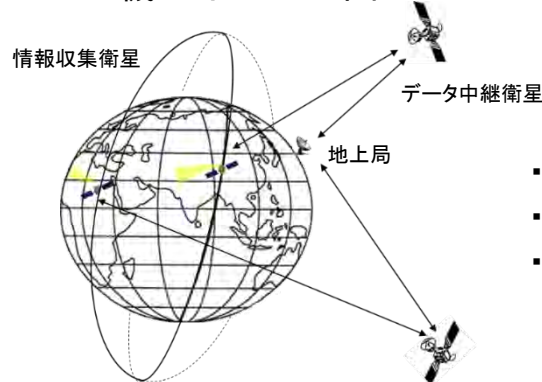
## 事業概要・目的

○外交・防衛等の安全保障及び大規模災害等への対応等の危機管理のために必要な情報の収集を主な目的とした情報収集衛星の開発等を行い、政府の情報機能を強化します。主に以下の施策を実施します。

- (1) 「基幹衛星」4機に、「時間軸多様化衛星」4機及び「データ中継衛星」2機を加えた合計10機の整備を目標とし、着実に衛星開発を進めます。
- (2) 即時性の向上やデータ量の増加に対応した地上システムの開発を進めます。
- (3) 情報収集衛星システムの機能・性能の抜本的向上のため、重要技術の先行研究開発を進めます。

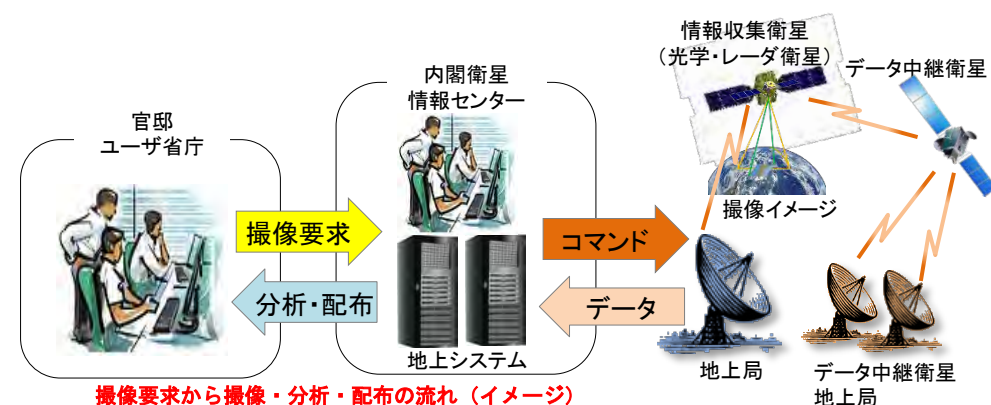
## 事業イメージ・具体例

### <10機のイメージ図>



- ・光学衛星4機
- ・レーダ衛星4機
- ・データ中継衛星2機

### <情報収集衛星運用イメージ>



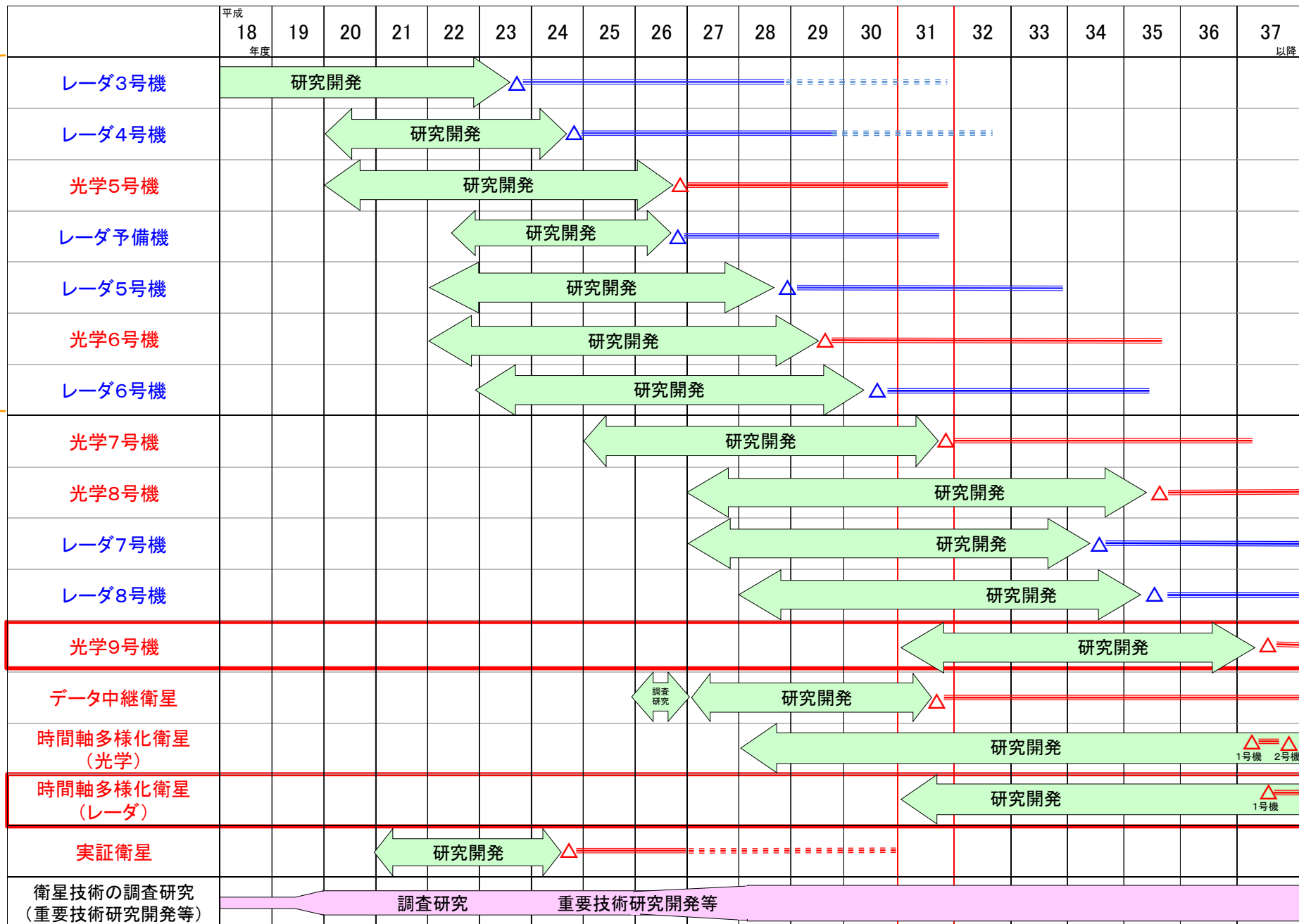
## 資金の流れ



委託費等

JAXA、NICT等の  
宇宙開発関連機関等

# 研究・開発及び打上げスケジュール(平成37年度まで)



現在運用中  
**6 (+1)機**

※ レーダ6号機  
(H30.6.12打上げ)  
は受領前機能確認中

※レーダ3号機、4号機  
は設計寿命を超過

※ 研究・開発に要する期間:5~7年。衛星の設計寿命は5年。

※ 赤枠は新規。

△打上げ